

里親登録増へ啓発本腰

日進、長久手「重点地域」に



子どもたちとおしゃべりする西岡美千代さん＝長久手市で

県が中日青葉学園に事業委託

家庭の事情で家族と生活できない子どもたちを「家族」として受け入れる里親を増やすため、県は啓発事業に本腰を入れる。日進市の児童養護施設中日青葉学園に今月、事業を委託。同学園は、同市と長久手市を本年度の重点地域として、活動を行う。二十四日には、長久手市の愛・地球博記念公園(モリコパーク)で養育里親体験発表会を開き、里親制度の周知を図る。

24日、長久手で体験発表会

県によると、養育里親登録は、独身や子育て未経験でもよく、経済的に困窮しておらず、性犯罪歴がないことなどが要件。重要なのは「愛情」で、年齢は養育可能であるかで判断する。欧米では要保護児童に占める里親委託の割合は五〜八割なのに対し、日本は二割程度。県は二〇一九年度末で18・2%だ。

施設より家庭での養育を優先する児童福祉法改正などを受け、県は本年度、委託率を二九年度までに35%に引き上げる目標を立てた。

県中央児童・障害者相談センター(中区)によると一日現在、登録里親数は日進市が九人、長久手市は十

四人。県児童家庭課の担当者「地域に密着した法人に委託することで、里親の裾野が広がればいい。啓発活動を土日祝日に行えるようになるので、一人でも多くの人に関心を持ってもらえれば」と期待する。

長久手市の西岡道治さん(六二)と美千代さん(五七)夫妻は、里親歴十八年でこれまで十八人の里子を育てている。現在は七〜十七歳の三人の里子と三人の妻子と暮らす。西岡さんは、父親が養護施設出身だったことなどから「やりたいという気持ちがあり、運命の糸に導かれるように四十三歳のときに始めた」という。

自分の子どもとともに里子を育てるのは、「一年に、間違えたかなと二百六十五回思い、やって良かったと五百回思うような感じ。大変だが、子どもが育つ過程を見守れるのはとても楽しい」と西岡さんは話す。また、美千代さんも「年齢も性格も事情もいろいろ。本当に勉強させてもらっている」と話し、「こ

ういふふうに暮らしている人がいることや里親制度をもっと知ってもらいたい」と願う。

二十四日の発表会では、里親の二組が体験を話し、制度の説明を行う。今後毎月一回、重点地域で発表会を開くほか、ちらし配布など啓発活動も行っていく予定。

同学園の阿尾匠晃さんは「関心がある人は、ぜひ足を運んでほしい」と呼び掛けている。午前十時〜正午。事前予約制。◎同学園
フォスターングセンター
0561(72)0134

なごや東



はなや
森育子
中部新制作
ニュース、情報は下
社会部
052-231-1650・59
Eメール
shakai@chunichi
瀬戸支局 〒489-0
瀬戸市共栄通4
0561-82-3121 Fax
日進通信部 〒470-0
日進市栄2-21
0561-74-2002 Fax
春日井支局
0568-81-2036 Fax
犬山通信局
0568-61-2612 Fax
小牧通信局
0568-72-1177 Fax
中日新聞へのご意見
読者センターへ
052-221-0800 Fax2
Eメール
center@chunichi
掲載写真を購入希望
最寄りの中日新聞版

いのちのかけこみ
縁切り供養
大法寺
費用、納骨、供養、墓じまい、仏
何でもご相談ください
0567-28-73
愛西市稲葉町江頭10番
樹木葬 大法寺 検索

ひまわり12
8.75 梅ちゃん先生
9.00 東海の肖像
10.00 じもむさくた
3.00 おおとくた
6.00 じもむさくた
3.00 じもむさくた
7.30 Wee
8.45 長久手ス
地域の語り部
さつまめ
9.00 せとく15あさ
35 せとく15あさ
11.00 鳥羽水族館
0.25 そらまめ
2.25 そらまめ

街角ニュース
渡辺社長から紫外
た湯沢病院院長 豊明
照射装置寄贈 プラスチック